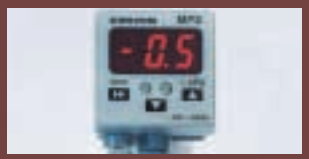
第55期　事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

CONVUM

妙徳から株主のみなさまへ



Convum **O**pens up **N**ew **V**alue chain as an **U**seful **M**ethod

コンバムは、（みなさまの）価値（連鎖）を広げるブランドです。

株式会社 妙徳

証券コード：6265

▲ 妙徳大田区下丸子本社

▲ 秋田事業所

岩手事業所新工場外観

株主のみなさまと共に

株主のみなさまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期は、前期より取り組んでいる経営改革の効果が現れ、当期は増収増益を達成。新たな成長に向けた礎の年になりました。

当社は、中期事業計画のキャッチコピーとして『不易流行』を掲げております。これは、俳人松尾芭蕉が残した言葉であります。『不易』は変わらないこと、即ちどんなに世の中が変化し状況が変わっても絶対に変わらないもの、変えてはいけないものということで、「不変の真理」を意味します。逆に、『流行』は変わるもの、社会や状況の変化に従ってどんどん変わっていくもの、あるいは変えていかなければならないもののことです。

妙徳において「不易」とは経営理念・目的・思い・志などであり、「流行」は戦略・方法・やり方などです。

今後もグループをあげて経営効率化を加速し、経常利益率30%を目指し、企業の価値の増大に向けて邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長

中嶋 俊雄

■ 当連結会計年度の概況

幅広い市場から受注が堅調に推移し、増収増益となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内需要は好調な企業業績に支えられ個人消費が回復するとともに、民間設備投資の底堅さが持続し、海外需要も米国、中国向け輸出が伸び、昨年夏にいわゆる「景気の踊り場」を脱出し、後半には景気は回復の勢いを強めましたが、原油に加え諸資材の高騰並びに米国及び中国経済に不安を抱え、景気の持続性に懸念を残す状況下にありました。

当業界におきましても、IT関連分野では、前半は生産調整の影響を受け需要は伸び悩みましたが、後半には需要が回復し、自動車関連市場では堅調な需要があり、その他の市場でも好調な民間設備投資に支えられ総じて需要を押し上げました。

この様な環境下で当社は、堅調な自動車関連市場に環境を重視した新製品を投入し拡販を図るとともに、国内はもとより海外の展示会への出展、楽天市場への出店等により市場の認知度を高め、需要の増大に注力いたしました。内部管理面ではTCR（トータルコストリダクション）活動を導入し、固定費の圧縮を推進し、内部改革による利益の創造に取り組みました。また、生産面では、昨年10月1日に生産子会社の㈱コンバムコーポレーションと㈱秋田妙徳を合併し、最適地生産を追求するとともに、㈱コンバムコーポレーション岩手事業所に工場を増設し、生産性向上等によるコストダウンに努めました。

この結果、当連結会計年度の業績につきましては、連結売上高は2,618百万円（前年同期比104.4%）と伸長いたしました。一方、当連結会計年度より海外販売子会社を連結対象にしたことによる固定費負担増並びに新コンピューターシステム導入による償却負担等により販売費及び一般管理費が増加しましたが、為替差益等営業外収益の増加もあり、連結経常利益は338百万円（前年同期比108.2%）、連結当期純利益は220百万円（前年同期比155.4%）となり、増収増益を確保いたしました。

■ 通期の業績見通し

真空機器に加え空気圧機器全般の取り扱いを開始し、真空機器販売との相乗効果を図るとともに、堅調な自動車関連市場に環境を重視した新製品を投入いたします。合わせてIT（情報技術）関連分野には、より大型化する液晶パネル等の搬送用向けに非接触搬送装置等新製品を提案する等、国内外の需要を更に掘り起こし拡販を図ってまいります。

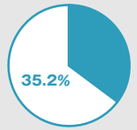
連結売上高	2,800百万円
連結経常利益	420百万円
連結当期純利益	240百万円
1株当たり連結当期純利益	29円94銭

■ 製品群別の状況

■ コンバム　9億2千2百万円

当製品群は、韓国向けのMC5シリーズ、台湾向けのMC2シリーズなどアジアへの販売増があり、北米、国内への販売も堅調に推移し、売上高9億2千2百万円（前年同期比111.5%）と、前連結会計年度を上回りました。

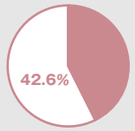
売上構成比



■ 吸着パッド　11億1千5百万円

当製品群は、ディスク製造装置向けの特殊仕様パッド、液晶製造装置向けの特殊処理パッド（RAパッド）の販売増などがあり、売上高は11億1千5百万円（前年同期比106.1%）と前連結会計年度を上回りました。

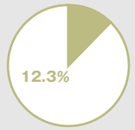
売上構成比



■ 圧力センサ　3億2千1百万円

当製品群は、半導体製造装置向けMPS-4シリーズ（差圧センサ）の販売減、その他大口ユーザー、欧州への売上減少もあり、売上高は3億2千1百万円（前年同期比86.9%）と前連結会計年度を下回る結果となりました。

売上構成比



■ FA機器その他　2億5千9百万円

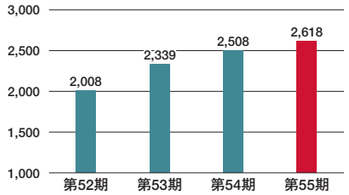
当製品群は、コンバムの販売増に伴う補器類の販売増がありましたが、真空切換弁の売上減少もあり2億5千9百万円（前年同期比99.8%）と前連結会計年度を下回る結果となりました。

売上構成比

■ 財務ハイライト

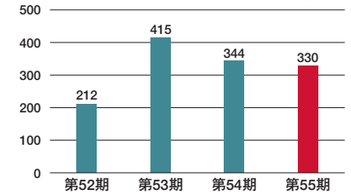
売上高

（単位：百万円）



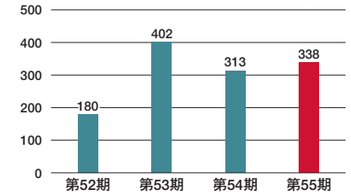
営業利益

（単位：百万円）



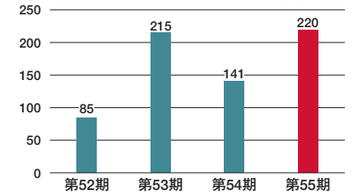
経常利益

（単位：百万円）



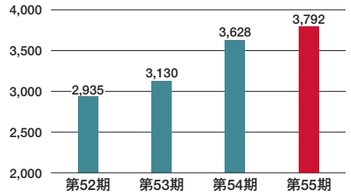
当期純利益

（単位：百万円）



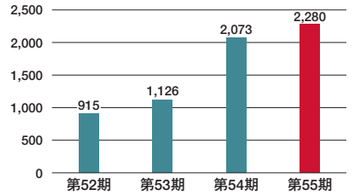
総資産

（単位：百万円）



株主資本

（単位：百万円）



連結貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**1,594,392**	**2,045,060**
現金及び預金	236,703	221,623
受取手形及び売掛金	834,196	810,382
有価証券	—	395,710
たな卸資産	440,233	319,468
短期貸付金	—	200,009
繰延税金資産	43,153	42,302
その他	40,522	55,563
貸倒引当金	△418	—
固定資産	**2,194,383**	**1,574,868**
有形固定資産	**1,886,825**	**1,306,135**
建物及び構築物	783,240	301,333
機械装置及び運搬具	281,393	197,051
土地	731,399	722,399
その他	90,791	85,350
無形固定資産	**88,597**	**59,275**
投資その他の資産	**218,960**	**209,457**
投資有価証券	195,485	102,799
繰延税金資産	423	36,278
その他	23,052	70,379
繰延資産	**3,316**	**8,099**
資産合計	**3,792,092**	**3,628,028**
負債の部		
流動負債	**735,165**	**538,024**
支払手形及び買掛金	201,575	97,776
短期借入金	40,000	—
一年以内返済予定長期借入金	187,222	213,012
未払法人税等	94,691	34,104
賞与引当金	38,594	39,419
その他	173,081	153,712
固定負債	**776,315**	**1,016,292**
社債	232,500	287,500
長期借入金	434,702	611,954
退職給付引当金	67,879	57,983
役員退職慰労引当金	—	49,383
その他	41,234	9,472
負債合計	**1,511,481**	**1,554,317**
資本の部		
資本金	**748,125**	**748,125**
資本剰余金	**944,675**	**944,675**
利益剰余金	**552,594**	**377,861**
その他有価証券評価差額金	**74,902**	**23,049**
為替換算調整勘定	**4,671**	—
自己株式	**△44,357**	**△20,000**
資本合計	**2,280,611**	**2,073,711**
負債及び資本合計	**3,792,092**	**3,628,028**

連結損益計算書

（単位：千円）

科目	当期 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	前期 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	**2,618,581**	**2,508,084**
売上原価	**1,152,194**	**1,114,832**
売上総利益	1,466,386	1,393,252
販売費及び一般管理費	**1,135,902**	**1,049,186**
営業利益	330,483	344,066
営業外収益	**41,212**	**7,289**
受取利息	1,413	446
受取配当金	1,187	861
為替差益	19,792	—
助成金収入	8,733	700
その他	10,086	5,282
営業外費用	**32,710**	**38,143**
支払利息	12,713	15,611
売上割引	220	278
社債発行費償却	2,950	3,981
著作権賠償金	—	5,237
機械設備等移設費	8,722	—
その他	8,103	13,033
経常利益	**338,985**	**313,213**
特別利益	**6,397**	**28,740**
保険積立金解約益	—	21,447
受取保険金	4,030	7,293
製品クレーム補償費戻入益	2,242	—
固定資産売却益	124	—
特別損失	**8,155**	**76,914**
固定資産除却損	8,155	619
製品クレーム補償費	—	22,006
役員退任慰労金	—	51,745
前期損益修正損	—	1,596
その他	—	946
税金等調整前当期純利益	**337,227**	**265,039**
法人税、住民税及び事業税	**117,348**	**82,698**
法人税等調整額	**△220**	**40,677**
当期純利益	**220,099**	**141,664**

連結剰余金計算書

（単位：千円）

科目	当期 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	前期 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
資本剰余金の部		
資本剰余金期首残高	**944,675**	**413,425**
資本剰余金増加高	—	**531,250**
増資による新株式発行	—	531,250
資本剰余金期末残高	**944,675**	**944,675**
利益剰余金の部		
利益剰余金期首残高	**377,861**	**276,737**
利益剰余金増加高	**207,073**	**141,664**
当期純利益	220,099	141,664
連結子会社増加による利益剰余金減少高	△13,026	—
利益剰余金減少高	**32,340**	**40,540**
配当金	32,340	25,540
役員賞与	—	15,000
利益剰余金期末残高	**552,594**	**377,861**

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科目	当期 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	前期 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**357,519**	**232,976**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△390,143**	**△520,256**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△276,112**	**651,547**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**4,117**	**△92**
現金及び現金同等物の増加額（減少:△）	**△304,620**	**364,175**
現金及び現金同等物の期首残高	**521,640**	**157,464**
子会社の新規連結による現金及び現金同等物増加額	**19,683**	—
現金及び現金同等物の期末残高	**236,703**	**521,640**

貸借対照表

（単位：千円）

科目	当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**1,763,041**	**1,691,606**
固定資産	**1,384,813**	**1,241,202**
有形固定資産	**577,958**	**532,905**
無形固定資産	**86,772**	**57,222**
投資その他の資産	**720,082**	**651,074**
繰延資産	**3,316**	**8,099**
資産合計	**3,151,170**	**2,940,909**
負債の部		
流動負債	**554,514**	**379,024**
固定負債	**562,110**	**655,539**
負債合計	**1,116,624**	**1,034,563**
資本の部		
資本金	**748,125**	**748,125**
資本剰余金	**944,675**	**944,675**
利益剰余金	**311,201**	**210,496**
その他有価証券評価差額金	**74,902**	**23,049**
自己株式	**△44,357**	**△20,000**
資本合計	**2,034,546**	**1,906,345**
負債及び資本合計	**3,151,170**	**2,940,909**

損益計算書

（単位：千円）

科目	当期 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	前期 平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	**2,617,138**	**2,506,915**
売上原価	**1,475,962**	**1,413,530**
売上総利益	1,141,176	1,093,385
販売費及び一般管理費	**1,005,802**	**959,761**
営業利益	135,373	133,623
営業外収益	**86,147**	**7,818**
営業外費用	**23,575**	**25,868**
経常利益	**197,945**	**115,573**
特別利益	**6,272**	**21,372**
特別損失	**801**	**73,819**
税引前当期純利益	**203,416**	**63,126**
法人税、住民税及び事業税	**75,045**	**8,147**
法人税等追徴額	—	**4,279**
法人税等調整額	**△4,673**	**29,960**
当期純利益	**133,045**	**20,740**
前期繰越利益	6,991	18,590
当期未処分利益	**140,036**	**39,331**

利益処分

（単位：千円）

科目	当期	前期
当期未処分利益	140,036	39,331
利益処分額		
配当金	56,112	32,340
任意積立金		
別途積立金	50,000	—
次期繰越利益	33,924	6,991

世界市場の開拓

『コンバム』は新たな付加価値と共に、顧客満足度向上を目指します。

空気圧機器製品の取扱開始
～総合空気圧機器メーカーへ～

平成18年4月14日に空気圧機器の取り扱い製品を、新たに24シリーズ約1,000品目に拡大して販売することを発表いたしました。

従来は、当社真空機器を補完するものとして一部の空気圧機器の販売行っておりました。電磁弁、エアシリンダ、各種アクチュエータ、FRL（フィルターレギュレータ）等、今年度より本格的に製品群を増やして販売を開始いたします。お客様の利便性を考え、コストパフォーマンスに優れた空気圧機器の取扱製品を更に増やしてまいります。平成18年5月1日より海外市場で販売を開始しており、日本国内では平成18年10月1日より販売を開始いたします。

▲ 電磁弁（方向制御弁）

▲ エアシリンダ各種（駆動機器）

コンバムスペシャリスト続々誕生

空気圧機器、真空機器製品について実践的に学ぶ施設として『CONVUM School』を岩手事業所敷地内に開設いたしました。各機器を実際に手に取りながら、その機器の特性・用途を学び、製品知識を深めるスクールです。社員並びに国内・海外代理店からの研修希望者を積極的に受け入れております。研修後は、認定試験を行い、合格証書を発行しております。また、あわせて研修者の宿泊施設も開設し、長期に亘る研修も可能です。

コンバムスクールの卒業生がスペシャリストとして顧客へのサービス向上へ努めてまいります。

▲ コンバムスクール教室
◀ コンバムスクール外観

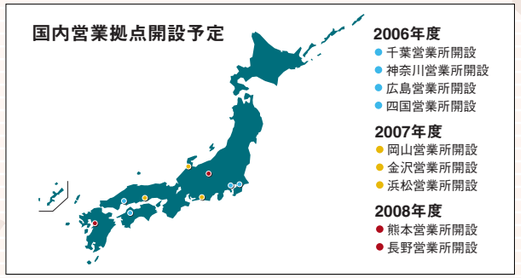
営業拠点の急速拡大

顧客に密着した営業活動を推進するため、国内外の営業拠点の拡充を図ってまいります。まず、中国につきましては、2006年度中に、広州に、中国2番目の販売拠点の開設を計画しております。広州近郊に集まる、自動車及び関連部品メーカー及び深圳に集中する電子部品メーカー向けの営業を主眼にいたします。韓国につきましても、2006年度中に釜山もしくは蔚山に、営業所を開設し、自動車メーカーを中心とする営業展開を計画しております。

▲ 上海事務所外観

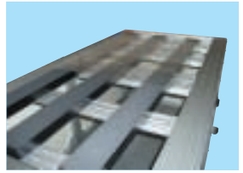
その他、活況を呈する東南アジア及びインド市場に対し、タイ国内に販売子会社設立を検討しております。

日本国内につきましては、現在8ヶ所の営業拠点を、6月の千葉営業所の開設を皮切りに、2006年度中に4ヶ所、2007年度中に3ヶ所、2008年度中に2ヶ所増設し、全国17ヶ所の営業拠点展開を計画しております。



New Release Information
新製品情報　『"LTU" エア浮上搬送ユニット』

圧縮エアを利用し対象物を浮かせて、完全非接触搬送を実現いたしました。非接触での搬送のため、対象物にストレスを与えることがありません。対象物の浮上高さは、50～125μmの範囲で調整可能です。ガラス基盤等、大型パネルの搬送機器をターゲットとしております。


▲ エア浮上搬送ユニットデモ機

■ 会社概要

（平成18年3月31日現在）

社名	株式会社 妙徳 （英文社名：MYOTOKU LTD.）
創立（設立）	昭和26年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2-6-18 TEL：03-3759-1491（代表）
営業所	東京営業所、大阪営業所、仙台営業所、埼玉営業所、八王子営業所、名古屋営業所、京都営業所、福岡営業所
従業員数	66名（就業人員数、臨時雇用者除く） （連結従業員数 124名）
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所
会計監査人	監査法人トーマツ

■ 役員の状況

（平成18年3月31日現在）

代表取締役社長	中森俊雄
代表取締役副社長	内藤邦彦
常務取締役	小尾明博
取締役	藤井　理
取締役	吉田清輝
取締役	金子定夫
取締役	伊勢幸治
取締役	河津和久
常勤監査役	中田　宏
監査役	村松雄司
監査役	北風榮征

■ 株式の情報

（平成18年3月31日現在）

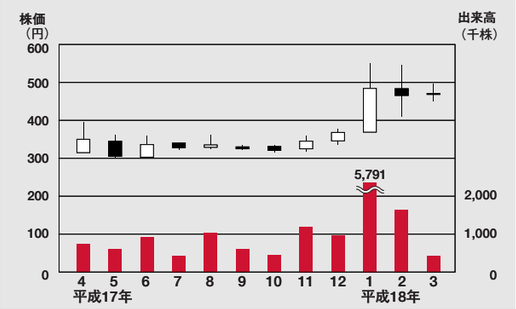
会社が発行する株式の総数	33,000,000株
発行済株式総数	8,285,000株 （その内自己株式　269,000株）
株主数	1,362名 （前期末比421名増）

■ 大株主（上位10名）

（平成18年3月31日現在）

株主名	持株数（株）	議決権比率（%）
伊勢　養治	1,237,700	14.94
伊勢　すが子	630,100	7.61
妙徳従業員持株会	497,250	6.00
伊勢　幸治	405,050	4.89
近藤工業株式会社	200,000	2.41
中森　俊雄	170,000	2.05
伊勢　忠	157,500	1.90
株式会社日伝	140,000	1.69
伊勢　三郎	126,500	1.53
泉　真紀	122,500	1.48

■ 株価チャート



品質・環境活動への取り組み

ISO9001＆14001認証取得

平成18年2月に、品質マネジメントに関する国際規格「ISO9001:2000」、環境マネジメントに関する国際規格「ISO14001:2004」の認証を同時に取得いたしました。認証取得事業所は、日本国内における全ての営業所・事業所であります。今後も、引続き高品質の製品と優れたサービスを提供するため、また、地球環境と調和した人間性豊かな社会の実現に貢献するため、継続的に品質向上及び環境保全の取り組みを積極的に推進してまいります。

CONVUMとは

CONVUM（コンバム）とは、圧縮空気を利用して真空を発生させる装置「エゼクタ式真空発生器」の当社ブランド名です。コンバムは真空吸着パッドと共に、主として、半導体・電子部品、液晶、自動車等、各種製造工場における各工程の自動化装置において、対象物を吸着固定、吸着搬送するための把持装置として使用されております。
今後、CONVUM（コンバム）を総合空気圧ブランドとして育ててまいります。

株主メモ

決算期	3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 お問合せ先　0120-232-711
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
1単元株式数	1,000株
公告掲載紙	日本経済新聞 （当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ《http://www.convum.co.jp》に掲載いたしております。）

株式に関するお手続き用紙のご請求について

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用下さい。

0120-244-479（三菱UFJ信託銀行本店証券代行部）

0120-684-479（三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部）

インターネットアドレス　http://www.tr.mufg.jp/daikou/

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、決算短信等、最新の会社情報を「IR情報」をはじめ、事業活動、製品情報など、様々な情報と共に公開しております。今後も、株主・投資家のみなさまにお役立て頂けるよう工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。

http://www.convum.co.jp

株式会社 妙徳
〒146-0092　東京都大田区下丸子2丁目6番18号
TEL 03-3759-1491（代表）

R100　PRINTED WITH SOY INK